

Lyric Colors

リリック カラーズ

公益財団法人 長岡市芸術文化振興財団 広報誌

vol.8

2023
WINTER
TAKE FREE

今年、長岡市立劇場は開館50周年。
心躍り、感動あふれるステージをこれからも――。

特集 開館50周年

長岡市立劇場へ 行ってみよう!

特報 長岡市立劇場開館50周年記念事業

葉加瀬太郎が長岡初見参!

スペシャルインタビュー

アコーディオニスト **coba**

注目公演

森麻季 & 錦織健 デュオ・リサイタル

アメイジング・ソングス ～愛と煌めきを歌にのせて～

グエン・ヴィエット・チュン ピアノ・リサイタル



長岡市立劇場
Nagaoka Municipal Auditorium

令和5年度 春の **オ ス ス メ** コンサート

これから続々と新着情報をお届けします! お楽しみに!

5/14日 森麻季 & 錦織健 デュオ・リサイタル

リリックホール コンサートホール
開場 / 13:15
開演 / 14:00

アメイジング・ソングス ～愛と煌めきを歌にのせて～

全席指定 4,000円 ※未就学児入場不可

チケット発売中

オペラ界の華が夢の共演! 魅力あふれる二人の歌声が 美しくロマンティックな世界へ誘います

人気・実力を兼ね備えた森麻季さんと錦織健さんの組み合わせによる、名アリアや日本歌曲などをたっぷり堪能できるコンサートです。そして、この二人をサポートするのは、多くの歌手たちがこぞって指名するピアニスト、山岸茂人さんです。彼らの紡ぐハーモニーから、華麗なオペラの世界が目の前に浮かび上がることでしょう!それぞれのリサイタルとはひと味違うプログラムを、楽しいトークとともに楽しみください。



森麻季(ソプラノ)



錦織健(テノール)

[出演] 森麻季(ソプラノ) 錦織健(テノール) 山岸茂人(ピアノ)

[曲目] ヴェルディ: 歌劇「椿姫」より「乾杯の歌」♥★
プッチーニ: 歌劇「ラ・ボエーム」より「冷たき手を」★
プッチーニ: 歌劇「ラ・ボエーム」より「私の名はミミ」♥
プッチーニ: 歌劇「蝶々夫人」より「バタフライは見捨てられ～それでも幸せ」《愛の二重唱》♥★
山田耕筰: からたちの花 ♥
服部良一: 蘇州夜曲 ★ ほか

♥森麻季 ★錦織健



山岸茂人(ピアノ)

5/21日 グエン・ヴィエット・チュン ピアノ・リサイタル

リリックホール コンサートホール
開場 / 13:15
開演 / 14:00

全席指定 3,000円 ※未就学児入場不可

チケット発売中

ベトナムの新星 日本初リサイタル!

1980年のダン・タイ・ソンによるアジア人初の快挙、ショパン国際ピアノコンクール優勝から40年一、ベトナム人として同コンクール本選出場を果たしたグエン・ヴィエット・チュンさん。ハノイに生まれ、8歳から多くの国内外の音楽コンクールに挑み、直近では、2021年にポーランドで開催された全国ピアノフェスティバル「若きピアニストの弾くショパン」コンクールにおいて第1位を獲得しています。そして、ヨーロッパ諸国を中心に各国のオーケストラとの共演など、精力的な活動を世界で展開されているなか、日本での初リサイタルが決定しました。

今後の活躍が注目されている、今年26歳の若き実力者の演奏にご期待ください。

[曲目]
モーツァルト: ピアノ・ソナタ第10番 ハ長調 K.330
シューベルト: 即興曲 作品90 (D899)
ショパン: バラード4番 / ピアノ・ソナタ第2番「葬送」Op.35 変ロ短調



ピアノ / グエン・ヴィエット・チュン

Lyric Colors vol.8 発行(公財)長岡市芸術文化振興財団
<2023年2月25日発行>

〒940-2108 新潟県長岡市千秋3丁目1356番地6
TEL. 0258-29-7715 <https://www.nagaoka-caf.or.jp/>



長岡リリックホール
Nagaoka Lyric Hall

より快適に
ご利用いただくために



客席の車いすスペース
&車いす貸出

車いすから降りずにご鑑賞いただけます。
お越しの際は管理玄関からの
ご入館が便利です。

正面玄関からも
エレベーターで
上がれます。

エレベーター



管理玄関側 (2010年設置)



正面玄関側 (2018年設置)

授乳コーナー (3F)



おむつ替えシートも
あります。

張出舞台



コロナ対策で距離を取るためなど、ス
テージを広く使えるように、ステージ前方
に継ぎ足しができるようになりました!

耐震強化をした大規模改修 (2016~18年)

改修前・後の大ホールを
くらべてみよう



座席シート 座席シートの色が落ち着いた赤になりました。さらに抗菌
仕様になりました! 出演者の方は客席が赤いホールでは気持ちが
高揚し、パフォーマンスがより良くなるそうです!

天井 天井はよく見ると形状が変わっています。
どの座席にも、よりダイレクトな音が届くようになりました。

床 床はより滑りにくく安全な素材になりました。
色も優しいベージュになり、明るい雰囲気!

特集 開館50周年

長岡市立劇場へ
行ってみよう!

昭和48年10月開館。半世紀にわたり、優れた音楽、演劇、舞踊等の鑑賞の場として愛されてきました。

みなさまへの感謝の気持ちを込めてお届けする、
ときめきと笑顔あふれるアニバーサリーイヤーが始まります。

みてみて!
ココにも
注目

大ホール 絨帳



開演前にステージに降りて
いる幕、市立劇場の絨帳を
ご覧になられたことはあり
ますか? デザインのタイ
トルは「躍進する長岡」。上下
左右に伸びている線は躍動
的なエネルギーを表現し、こ
の華麗な色彩は、輝ける将
来、そして明るい市民とそ
の健康を象徴しています。

サイズ / 20m x 8m

シャンデリア

直径 / 3m
重量 / 300kg

正面玄関の階段を上っていくと見えてくる
大きな球体。こちら、三尺玉をモチーフに
作られたシャンデリアで、なんと実際の三
尺玉と同じ重さなんです!! 昔は、この三尺
玉が数センチ下がってきたら雪下ろしをし
ていたとか……。 (改修工事をしたので現
在屋根は下がりません。)



設計者が三尺玉を
意識して3の数字
にこだわったらし
いですよ!

スタッフこぼれ話

劇場には怖い話がつきものです。
市立劇場にもあるんです...

夜中に片付けが終わり、ホールの明
かりを消そうとすると.....誰もいない
はずの調光室から、赤い傘をさした
おばあさんが客席を覗き込んでいる
のが見えたとか.....!?

ドンドン太郎

作 / 流政之
素材 / スウェーデン産の黒御影石
重量 / 1トン



携帯の待ち受け
画面にしたら、
いいことドンドン
起こるかも!?

大ホール入口の階段手前にチヨコンと座り、開館以
来ずっとお客様をお出迎えしています。ほほ笑みをた
たえた黒い顔の「ドンドン太郎」。何とも言えない愛
嬌を感じませんか! シェンズンお客様に足を運んで
もらいたいという思いを込めて名付けられました。

開館以来変わらない市立劇場の3大シンボルをご紹介します!
ご来館の際はぜひご注目ください。

長岡市立劇場 アレ・コレ

劇場 50周年

春まつり

みんなで祝おう
オープニング
ステージ

4/23日 開場13:00
開演14:00

長岡市立劇場 大ホール

メモリアルイヤーの開幕を祝うステージイベント
を開催します。あたたかな春に、みんなで開館
50周年を一緒にお祝いしましょう!

入場無料
(要整理券)

配布場所/
長岡市立劇場
長岡リリックホール

整理券配布開始: 3/10(金)

※未就学児のお子様もご入場いただけますが、
周囲のお客様にご配慮とご協力をお願いします。

メモリアル展示

~50周年の歩みをポスターで振り返る~



定期的に展示内容を
変えながら年間通じて
実施しています!

2024年3月末まで

来場特典
50周年記念
チケットケースを
プレゼント!

ぜひご来場ください!



長岡市消防音楽隊
コンサート

[演奏曲]
●天地人 ●ジュピター
●ラデツキ一行進曲ほか



祝50周年に
びったりな曲や、
大人も子どもも
楽しめる曲が
満載!

劇場に贈る言葉

~巨大書ライブ柳澤魁秀~



ステージで
迫力の書を
パフォーマンス

みんなのステージ俳句
にこにこ川柳コンテスト
表彰式



俳句選者 夏井なつき先生 (映像出演)
川柳選者 高橋なんさん (新潟お笑い集団 NAMARA)

小学生から90代の方まで幅広い年齢
層の方からたくさんのご応募いただき
ました! 最優秀賞を当日発表します!

どうする太郎

ジャンルを越えて、藝大第10代学長 澤和樹と葉加瀬太郎の師弟共演

音楽ってこんなに楽しい!

気になる内容を
ちょこっと紹介!



魅力満載!
唯一無二のコンサート

今や日本で最も活躍しているヴァイオリニスト、葉加瀬太郎の長岡初見参。実は藝大受験前の高校2年生から私に弟子入り。無事、現役合格を果たすも1年生の藝大入学で、ポップスの魅力に取り憑かれ、その世界に...。以来、パツパツとレッスンには来なくなり、行方不明?に。音信不通が長らく続いた後、世界の歌姫、セリーヌ・ディオンとの共演で大ブレイク。

今回の演奏会では、クラシック、ジャズ、ポップスの垣根を越えての師弟共演、葉加瀬、柏木、澤クワルテットによる室内楽でのガチの対決、藝大の卒業生、現役大学院生によるこの日のためだけに結成される「東京藝大・米百俵アンサンブル」との共演、日本を代表するクリエイティブ・ディレクター、箭内道彦による進行で、音楽の魅力満載の唯一無二のコンサートになること請け合いです。

豪華 出演者紹介



今年も
10月8日に
リリックホールで
演奏会を開催!

澤クワルテット

1990年に結成され、日本屈指の弦楽四重奏団。以来不動のメンバーで充実した活動を展開。メンバーの大関さんは長岡出身。



長岡初見参!
恩師・澤さんとガチ対決



葉加瀬 太郎(ヴァイオリン)
独自の世界観を展開する、日本一有名なヴァイオリニスト。澤さんとの交流は約40年! 2022年4月1日付、東京藝術大学客員教授就任。

葉加瀬 太郎さんからのメッセージ
長岡市立劇場50周年おめでとうございませう。半世紀という短くない時間を長岡市民に愛され続けた素敵なホールで、私のヴァイオリンの師匠である澤先生と藝大の仲間たちと公演できる喜びに感謝しております! 公演が楽しみでなりません。



東京藝大・米百俵アンサンブル
藝大卒業生や、現役大学院生による、この公演のためだけに結成された実力派アンサンブル!



柏木 広樹(チェロ)
自らを“チェロ芸人”と称し、ジャンルを超えた活動を展開中。東京藝術大学卒。



榊原 大(ピアノ)
演奏活動のほか、映像音楽提供、アーティストプロデュースなどマルチに活躍中。東京藝術大学卒。



天野 清継(ギター)
大物アーティスト達が信頼するギタリスト。4月、cobaさんのライブでもリリックに登場!



箭内 道彦(進行)
東京藝術大学教授であり、紅白歌合戦に出演したロックバンド猪苗代湖ズのギタリストでもある。

第10代東京藝術大学学長
澤和樹プロデュース

どうする太郎

6/25 日

長岡市立劇場・大ホール

開場 13:15 開演 14:00 ※未就学児入場不可
全席指定 S席 7,000円 A席 5,000円
〈リリックm.c.先行販売〉4/11(火) 〈一般〉4/13(木)

特別編成で
あの曲が聴ける!

葉加瀬太郎/エトピリカ、情熱大陸
J.S.バッハ/2つのヴァイオリンのための協奏曲
ブラームス/弦楽六重奏曲第1番 第2楽章
ピアソラ/リベルタンゴ ...ほか
※曲目は変更となる場合があります。

楽しいトークが
盛りだくさん!

特報 長岡市立劇場開館50周年記念事業

葉加瀬太郎が長岡初見参!

スペシャルな企画が用意されている、長岡市立劇場開館50周年。その第一弾として、第10代東京藝術大学学長 澤和樹さんがプロデュースする「どうする太郎」の開催が決定しました。メインゲストはヴァイオリニスト葉加瀬太郎さん!そして、澤さん自身が率いる澤クワルテットをはじめ、クラシックやポップスなど他ジャンルで活躍するミュージシャンの方々が長岡に集結し、様々な角度から音楽の魅力に迫ります!この特別企画のプロデューサーを務める、日本クラシック界の重鎮 澤和樹さんに、このコンサートのみどころをお伺いしました。

私の長岡デビューは
約40年前の長岡市立劇場でした

私が主宰する「澤クワルテット」は、メンバーの大関博明さんの出身地である長岡に、1991年のデビュー以来、毎年欠かさず伺っています。室内楽という演奏形態から、長岡市立劇場での公演は、それほど多くはありませんが、実は私自身の長岡デビュー、そして大関さんとの数奇なご縁は、1984年10月、長岡市立劇場での長岡交響楽団第14回定期演奏会で始まりました。当時、群馬交響楽団コンサートマスターの大関さんが、この演奏会ではソリストとして協奏曲を共演予定でしたが、本番直前に交通事故に遭われ、出演できなくなったため、指揮者の依頼で、急遽私が代役を務めることになりました。大関博明さんのお名前を知ったのもこの時でした。

それから約40年経つたいま、長岡の音楽や芸術の中心を担ってきた長岡市立劇場の開館50周年記念演奏会のプロデュースをさせていただくことに格別な感慨を覚えます。

「音楽の素晴らしさ」を
長岡市立劇場という空間で――

「澤クワルテット」の活動や、リリックホールでの弦楽アンサンブル指導を通じてクラシック音楽の魅力がこれまで共有できていた来て来た皆さまはもちろんですが、今回の演奏会では、クラシック、ジャズ、ポップス...といったジャンルにとらわれず、音楽の普遍的な魅力に触れていただく、絶好の機会であると捉えています。多くの皆さまと「音楽の素晴らしさ」を長岡市立劇場という空間で共有できるのを楽しみにしております。

プロデューサー 澤和樹さんをご紹介

長岡リリックホール開館以来、「澤クワルテット」のコンサートを毎年開催し、弦楽講習会を通じた地域交流など、多岐にわたって長岡の芸術文化を長年支えていただいています。そして、昨年6年間にわたった東京藝術大学学長の任期を満了され、人生の第二ステージを迎えています充実した活動を展開されているなか、このたび市立劇場50周年の公演プロデュースを引き受けてくださいました。この豪華な顔ぶれは、日本の芸術文化を牽引する世界的ヴァイオリニスト 澤さんのご人徳があってこそ実現に至りました!



Profile 澤和樹

ヴァイオリニスト

1979年、東京藝術大学大学院修了。数々の国際コンクールに入賞し、イザイ・メダル、ホルダー音楽祭メダルを受賞。'80年より文化庁在外研究員としてロンドンに派遣される。'84年に東京藝大に迎えられるとともに本格的な演奏活動を開始し、'89年には、文部省在外研究員としてロンドンの王立音楽院に派遣され、この時期、アマデウス弦楽四重奏団メンバーとの出会いにより澤クワルテットの結成を決意。2004年、和歌山県文化賞受賞。東京藝術大学音楽学部教授、音楽学部長を経て2016年より2022年まで東京藝術大学学長。東京藝術大学英国王立音楽院名誉教授。東京大学先端科学技術研究センター・フェロー。

アコーディオニスト

coba

スペシャルインタビュー

自身の誕生日に 30周年記念ライブを リックホールで開催決定!

3歳から14歳の多感な幼少期を新潟で過ごし、いまでは国内外の音楽シーンに影響を与える世界的アコーディオニストとして躍進を続けているcobaさん。2021年11月にデビュー30周年を迎え、ニューアルバム「サムライアコーディオン」を引っ提げ6年ぶりにリックホールに登場!そして、その開催日がcobaさんの誕生日というスペシャルなライブとなります。ふるさととも言える新潟での思い出や、長岡公演への想いをお聞きしました。



cobaさんにきいた

ライブの

見どころ

「サムライアコーディオン」に

込めた想い

CDデビュー30周年を記念した「サムライアコーディオン」。数々の困難を乗り越え、変わらぬ想いを抱き走り続けてきた信念を「サムライ」に例えました。また、このアルバムは30年間やってきた金字塔ではなく、絶えず新しいものを追いつめてきた人生において、「31年目の始まり」という意味で作成したものです。ラップとの共演など新しいことにも挑戦しつつもcobaらしい曲も織り交ぜた、僕の新しい世界を皆さんに楽しんでいただきたいです。

また、この3年間、国内外のツアーやフェスティバルがキャンセルの嵐でした。その中で、1年半かけて47都道府県ソロコンサートツアーを何とか50公演実行することができました。感染を避けるため、マネージャーと運転を交替しながら車で7万キロ移動しました。ツアー中に急遽延期になったりして、めちゃくちゃな行程になったりしましたが、お客様や関係者の皆さんからご理解いただきながらのツアーでした。この経験のお陰で、僕らが演奏できることは当たり前前のことではなく、ライブは多くの方が創り上げてくださった奇跡の一日なんだということと改めて実感することができました。「音」を大切に紡いでいかなければならない。「音」を思いこのツアーに臨みます!

同じ中学校出身!
長岡で初共演♪



「徳永兄弟」について

実は今回が初共演なんです。彼らはスペインの「スター誕生」的な番組で注目され、SNS上で話題となり、フラメンコが大好きな僕は以前から注目していました。ある日、同級生から「母校鳥屋野中学からすごいアーティストが出たぞ」と新潟日報の記事と共にLINEが届きました。びっくりしましたし、一気に親近感が沸きました(笑)。しかも、彼らのマネージャーは古い付き合いの知人です。色々な縁が重なって、今回の共演に繋がりました。

また、若い世代からこんなに素晴らしいフラメンコの才能が生まれ出たことは、とてもうれしいことです。どのようなライブになるか、期待で胸がいっぱいです。そして、今回このような機会をつくっていただいていたことに心から感謝しています。

アコーディオンのイメージを

変えたい!

父から小学4年生のときの誕生日にアコーディオンをプレゼントされました。が、半年くらいケースから出さずにいました。父が趣味でやっていたのですが、演奏する父の姿から「おじさんの楽器」というイメージがあり、どうしてもやる気になれなかったんです(笑)。

そんな時、担任の先生がとてもエネルギーシユな方で、先生方を集めたコーラスグループを結成したんです。全校朝礼で歌を披露するから伴奏して欲しいと声をかけられました。そこで初めて、アコーディオンを使ってみようか。となり、ようやくケースから出し、わずか3日の練習で舞台上に立ちました。

それが僕のアコーディオンデビューとなったわけですが、友達の反応がおかしかった。当時、アコーディオンは漫才師やのど自慢の伴奏用という立ち位置だったんですね。合唱コンクールなどでピアノ伴奏したときは褒められたのに、この時は冷やかされたり、ネガティブなものだったんです。この時の感覚は一生忘れられません!「なんでこんな素敵な音が出る楽器なのに、こんな風にしか受け止められないんだろう」という疑問で胸がいっぱいになり、すごく落胆させられたところから僕のアコーディオン人生が始まったわけです。

その時からアコーディオンのイメージを変えたい。常に新しいものをつくってやる!と、反骨精神みたいな想いを抱えながら30年間ずっと突っ走ってきました。僕にとってアコーディオンは、大きなポテンシャルを持つ「未来の楽器」です。その楽器に秘められた大きな可能性を自分の活動を通して、これからも多く

の方に伝えていきたいです。そして、僕の演奏からぬくもりや生きがいとか、そういうことをお客様に感じていただくことが僕の幸せだと思っています。

ちなみに、僕のアコーディオンデビューのきっかけをくださった担任の先生は長岡の方。今でも僕のライブに足を運んでくださっています(笑)。

粘り強い雪国人特有の性格は
僕の人生に大きくプラスに!

新潟の友人達とはいまだに交流がありません。新潟県民の持つ粘り強く、少々のことではへこたれない雪国人特有の性格は、その後の僕の人生に大きくプラスになりました。国際コンクールや演奏会、最近では映画やテレビドラマ音楽の作曲、編曲等々の仕事で徹夜が続き、ついつい根を上げそうになる時、いつもこの粘りのある性格に助けられて来ました。どこまでも続く田園風景を見るとなんと懐かしい気持ちになり、熱いものがこみ上げてきます。そして、少年時代をお米や魚、野菜をはじめ美味しいものでいっぱい新潟で10年間過ごせたことで、舌の感性もぐっと鍛えられ、その後も美味しいものに会おうたび、いつも新潟に感謝の念が沸き上がっています。

また、このたび何度も公演をさせていただいている長岡リックホールで、また演奏させていただきます。しかも、僕の誕生日に演奏しながら、また1年、歳を重ねることができるとあって、この上ない幸せです。長岡の皆さんにお会いできること、楽しみにしています!ぜひ、一緒に盛り上がりましょう!

アコーディオニスト・作曲家

Profile coba

3歳から音感教育で音楽に接し、18歳でイタリアに留学。アコーディオンの頂点を目指す学生が世界各地から集結する名門校、ヴェネツィアのルチアーノ・ファンチュェリ音楽院アコーディオン科を首席卒業。ウィーンで開催された世界アコーディオンコンクールを始め、数々の国際コンクールで優勝。ヨーロッパ各国でのCDリリース、チャート1位獲得など、「coba」の名前と音楽は国境を越え世界の音楽シーンに影響を与え続けている。2017年10月、「アコーディオンの聖地」と呼ばれる、イタリアのカステルフィダルド市から「アコーディオンのイメージを著しく改革した功績」により、日本人初の名誉市民賞を授与される。2021年11月にデビュー30周年を迎え、ユニバーサルミュージックより記念ベストアルバムをリリース。2022年10月通算46枚目のアルバム「サムライアコーディオン」をリリースし、2023年2月より全国ツアーを開催。

フラメンコギターデュオ

Profile 徳永兄弟

新潟市出身。幼少期より父、徳永武昭のもとフラメンコギターを始める。中学卒業後スペインへギター留学。日本フラメンコ協会新人公演奨励賞ギター部門を兄弟共に2年連続受賞。兄はスペインのセビージャにてCERTAMEN ANDALUZ FLAMENCOS アンダルシアフラメンココンクール準優勝。弟は2019年にスペインのバルセロナでの国際コンクールで決勝進出し4位に入賞。日本とスペインを行き来し、様々な舞台にて活躍。



coba tour 2023

サムライアコーディオン

弾きすて御免!

4/29 土 祝

開場15:30
開演16:00

長岡リックホール・シアター
全席指定 5,500円 ※未就学児入場不可

【出演】
coba(アコーディオン) 天野清継(ギター)
天倉正敬(ドラムス) 内田義範(ベース)
ゲスト/徳永兄弟(フラメンコギターデュオ)

好評発売中